

# 自慢の牛馬を競い合う

第64回弟子屈町家畜共進会



入賞牛を囲んで



馬の部の最優秀賞

あいに  
くの雨模様でしたが、乳牛の部に7戸の酪農家から28頭が、馬の部に10戸の馬飼養者から22頭が出陳され、盛大に開催されました。

## 乳牛の部

▼グランドチャンピオン／メドーブリッジ ロース シヤトル(株メドーブリッジホルスタインズ(南弟子屈)所有)▼R・グランドチャンピオン／ブライトランド ゴールドウィン エレノア E.T(坪井泰憲さん(奥春別)所有)▼ジュニアチャンピオン／グリークエスト RO デンプシーブレイク坪井秀明さん(奥春別)所有▼R・ジュニアチャンピオン／ブライトランド ゴールドウィン レイプ E.T坪井泰憲さん(奥春別)所有  
口馬の部  
▼最優秀賞／タカロイヤル(藤田千代さん(札友内)所有)

# 未来に森をつなごう

弟子屈町植樹祭  
エア・ドウ絆の森植樹祭



大きく育てと願いを込めて(町植樹祭)



手分けして丁寧に(エア・ドウ絆の森植樹祭)

6月4日には、エア・ドウ絆の森(釧路(弟子屈)植樹祭が美留和の町有林で行われました。  
(株)AIRDO(エア・ドウ)が行う社会貢献事業の一環として行われたもので、昨年に引き続き2回目。同社社員や地域の方など約1000人が参加し、エゾヤマザクラ400本とヤチダモ280本を植樹しました。

町と同社は昨年4月、森林整備に関する協定を締結。協定に基づき、同社は7年間にわたり、町有地7畝で植樹と手入れを行います。

弟子屈町植樹祭(森林は自然の貯金箱)が6月2日、桜ヶ丘森林公園で行われました。  
緑のふるさとづくりを目的に、町と弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)が主催して毎年開催。(株)ニトリの協賛、今井林業(株)からの寄附、摩周建設事業協会からの苗木の寄贈を受けました。  
今年は冷たい雨が降る中、自治会関係者など約70人が参加。苗木が大きく成長することを期待しながら、エゾヤマザクラなど122本を植樹しました。

## 町の話



## 町の話

## 町の話



## 町の話

# 花と緑あふれるまちに

花いっぱい運動



鈴蘭交差点付近で行われた花いっぱいフラワーロード事業



役場前で植栽を行う摩周フラワーマスター協会の皆さん

摩周フラワーマスター協会(渡邊会長)の皆さんが6月9日、役場庁舎前と役場駐車場入り口の花壇に植栽を行いました。皆さんに花を楽しんでもらいたいと毎年行っているもので、今年で22回目。15人が参加して、マリゴールドやベチュニアなど約700株を手際よく植えました。

6月11日には、弟子屈町花いっぱい運動推進委員会(会長・上村剛志商工会青年部長)などの皆さんが、国道243号沿い鈴蘭地区交差点付近で「弟子屈町花いっぱいフラワーロード」事業を行いました。商工会青年部・女性部などが中心となって組織し、毎年行っています。この日は約70人が参加し、花苗の植栽を実施。10月まで、除草や清掃なども行います。



日の出自治会の皆さんによる日の出交差点での植栽

6月12日には、日の出自治会(塩沢紀雄会長)の皆さんが、国道391号から摩周駅前に向かう交差点のロータリーで花壇への植栽を行いました。毎年この時期に行っているもので、約20人が参加。サルビアやマリゴールドなどを丁寧に植えました。

# 雨にも負けずごみ拾い

摩周湖クリーンウォーク2016



グループごとに担当コースを歩きながら清掃



も弟子屈町建設業協会がトイレカーを2台提供したほか、(有)丸高産業がごみ収集車1台で収集作業を実施。弟子屈町未来子ども協議会(目黒厚子会長の会員がお茶のサービスを行いました。  
環境月間(6月)の全町の行事として定着した摩周湖クリーンウォーク。今後も未永く継続していきたい取り組みです。

町主催の「摩周湖クリーンウォーク2016」が6月4日、町内各地の国道や道道、町道沿いで行われました。  
摩周湖周辺の環境保全対策や自然の番人宣言事業、シーニックバイウェイ弟子屈エリアの活性化事業の一環として行われているもので、今年で11回目。雨の中、一般参加の町民の方や小・中学生、園児のほか、事業所などから660人が参加しました。  
参加者は23のグループに分かれ、摩周湖や川湯温泉、仁伏などの13コースをウォーキング。雨脚が強まったため、コースの変更や時間の短縮などもありましたが、空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻などのごみを340kg集めました。また、今年



雨の中、懸命にごみを集める参加者